

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

仏向地域ケアプラザ

2 事業計画

地域の現状と課題について

横浜市仏向地域ケアプラザは仏向町、仏向西、坂本町を担当エリアとしています。坂が多い地域で住民の多くが車やミニバスの公共交通機関を利用しています。地域的に人口増加が進んでおり、30～40歳代の若いファミリー層の増加が見られます。それと同時に高齢化率も上昇しており、若い世代と高齢世代の世代間交流をいかに行っていくかが地域課題の一つとしてあげられます。

第二期地域福祉保健計画では地区連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区社会福祉協議会と一緒に懇談会を開催し、それぞれの地域が抱える問題の抽出を行いました。抽出された問題のひとつとして、認知症の一人暮らし高齢者が増加している現状があり、認知症に関する理解を深めることを地域の課題とし、勉強会や地域のお祭りを通じて認知症に対する理解を深める取組みを行ってきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

ケアプラザが地域の中で活用されていくためには、来館者が快適に使える施設であるということが重要だと考えています。快適であると感じることの重要なポイントとして、清潔な環境を維持していくことも大切ですが、来館者に対して職員がどのような対応ができるかということに繋がると思います。「理事長への手紙」を設置するなど、要望やクレームが言いやすい環境や仕組みを整えることはもちろん、第三者評価等を積極的に活用することで、自己研鑽に励みます。

安全面に関しては、火災等の災害に備え、避難経路や消火器設置場所をわかりやすいように館内に掲示。また、設備の保守管理等のハード面は、適切な業者に業務委託を行い、安全性の向上を図ります。

イ 効率的な運営への取組について

運営協議会でのご意見や各自治会との勉強会、各行事の中で、地域の方々がケアプラザに求めていること、また地域のニーズや不足している社会資源を把握することに努めます。出前講座の開催や地域行事への参加等、できるだけ地域に職員が出向くことで、必要な方に必要な情報やサービスを届けることができるよう事業の方向性を統一し、各事業を実施します。

ウ 苦情受付体制について

館内に「理事長への手紙」を設置し、要望や苦情が匿名でも受けられるような体制を整えます。また、当法人の苦情相談窓口の案内等も行います。

自主事業を実施した後に、その事業へ参加した皆様から感想や要望をアンケートとしてあげていただき、次の事業に反映できるよう取組みます。

年一回、施設利用者アンケートを実施し、問題点やその対応策について区役所に報告を行います。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

施設の火災等発生時と地域での大規模災害発生時に分け、職員の役割分担を決めており、施設利用者の身の安全を確保します。

また、当施設は大規模災害時の二次避難場所となっております。また、広域避難場所連絡会や避難訓練等にも積極的に参加します

オ 事故防止への取組について

ヒヤリハット報告や事故報告の際には、部門ミーティング等において、事故原因の追究とその防止策を検討していきます。ヒヤリハット報告は今後も業務改善のツールとして活用し、職員間での情報共有を徹底いたします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人としての個人情報保護方針を定めており、これをホームページに掲載すると同時に館内にも掲示しています。また、指定管理業務で個人情報の漏えいがあった場合には、行政への報告を行います。

居宅介護支援事業や介護予防支援事業に関しては、契約書の中にも謳われており、その厳守に努めます。

全職員に関して、個人情報保護に関する誓約書を入職時に記入してもらい保管しています。情報公開については、当法人のホームページにて運営規定や財務状況を公開。また、介護サービス情報公表制度や第三者による評価も受け、結果を公表しています。

キ 情報公開への取組について

情報公開については、当法人のホームページにて運営規定や財務状況を公開しています。実施事業ごとに施設受付前に運営規程も掲示します。

また月1回、地域の情報や自主事業の情報、健康情報などを掲載した広報紙を発行し、各自治会や学校、施設、関係機関等へ配布します。

介護保険事業に関しては、ケアマネジャーの空き情報の公開や神奈川県指定情報公表センターのホームページにて介護サービス情報の公表を行っています。

ク 人権啓発への取組について

【権利擁護】

成年後見制度や消費者被害対策等の地域への周知に努めます。

【高齢者虐待】

地域のケアマネジャーとの連携に加え、各サービス事業所や地域で活動する地区社会福祉協議会、民生委員への虐待に対する感度を高める取組を行い、より一層の早期発見に努めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市資源循環局のルート改修（ヨコハマ3R夢プラン）に対応するよう、ゴミの分別を徹底しています。「資源としてリサイクルできる物と、ゴミとして排出する物と区別をする」、「ゴミを持ち込まない」、「ゴミを増やさない」、これらのことへの意識を高め、ゴミの減量化に取り組んでいます。横浜市のヨコハマ3R夢プラン関連の研修にも積極的に参加します。

また、館内の温度管理等を適切に保ち、使用しない部屋の電気や空調の電源をこまめに切る等の節電により、環境への配慮に努めます。

修繕等の発注、物品及び業務の調達等にあたっては、横浜市中心企業振興基本条例の趣旨を踏まえ、市内中小企業への優先発注に努めます。

介護保険事業

介護予防支援事業

職員体制
地域包括支援センター４名（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター）体制。

目標
<ul style="list-style-type: none">・介護予防従事者研修など必要な研修へ積極的に参加することで、職員の資質向上に努めます。・ケアマネジャーからの相談にはいつでも応じ、ケアマネジャーが一人で問題を抱え込まないよう、必要に応じてケアカンファレンスや地域ケア会議を開催するなど、支援体制を整えられるよう取り組みます。 <p>【困難事例について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャーや介護保険サービス事業所に加え、区役所や区・地区社会福祉協議会、民生委員、一般事業所等と連携を図り、解決に向けて取り組みます。・上記の連携円滑化のため、地域ケア会議やケースカンファレンス等を必要に応じて開催し、地域包括ケアシステムの基盤構築に向けた支援体制の構築に取り組みます。

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）
特になし

その他（特徴的な取組、PR等）
地域住民との関わりを深める目的で自治会等への積極的な働きかけを行います。 「認知症サポーター養成講座」を中心に地域住民向けの認知症に関する勉強会の開催を実施します。 <ul style="list-style-type: none">・介護保険制度を知らない人や実際には必要なものの制度に繋がっていない人を一人でも多く掬い上げるため、各自治会等への講座案内や出張講座等に積極的に取り組みます。・新しい徘徊SOSネットワークシステムの説明を通して地域の施設等との繋がりを強化すると共に、認知症サポーター養成講座の開催を四半期に一回の目標とし、地域全体の福祉力・支援力の向上に取り組みます。

利用者目標（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
164	166	168	170	172	174
10月	11月	12月	1月	2月	3月
176	178	180	182	184	186

居宅介護支援事業

職員体制

管理者 1 名と常勤 2 名、常勤兼務 1 名の 3.5 名体制。

目標

ケアマネ連絡会を中心とした研修会参加や、同法人内での定期ミーティング開催により、質の高いケアマネジメントを提供していけるよう取り組みます。
また昨年度同様、包括支援センターや地域活動・交流との共催により、地域住民向けの料理教室の場を活用した介護保険制度説明など、地域貢献活動も実施します。

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

特になし

その他（特徴的な取組、PR等）

社会福祉法人清光会の 6 つの施設（4 地域ケアプラザと 2 特別養護老人ホーム）と医療法人恵生会との連携により、福祉医療に充実した体制を整え、精度の高い情報提供とケアマネジメントを行います。また、土日の相談にも対応することができるよう、所内の連携に努めます。

利用者目標（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
5 6	5 9	6 2	6 5	6 8	7 1
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7 4	7 7	7 8	7 8	7 8	7 8

通所介護事業/介護予防通所介護/第一号通所事業

提供するサービス内容

- ・送迎
- ・健康チェック
- ・入浴
- ・食事
- ・レクリエーション
- ・口腔機能向上
- ・個別機能訓練
- ・運動器機能向上訓練
- ・生活機能向上グループ活動
- ・相談業務

実費負担（徴収する項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
（要支援1）	1,766円/月
（要支援2）	3,621円/月
（要介護1）	704円/回
（要介護2）	831円/回
（要介護3）	963円/回
（要介護4）	1,095円/回
（要介護5）	1,227円/回
○ 食費負担	750円/回

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 7日 ○提供時間 9:30～16:35

職員体制

- ・管理者 1名（常勤兼務）
- ・生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・看護師 5名（非常勤兼務）
- ・介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

目標

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施します。ご利用者お一人お一人に合わせた自立支援に努め、昼食メニューの充実やレクリエーションプログラムの見直しを行うことで、月間稼働率80%以上を目指します。

その他（特徴的な取組、PR等）

通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業に加え、認知症対応型通所介護も併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めていきます。明るく開放的なデイルームで、ご利用者お一人お一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けます。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
766	792	766	792	792	766
10月	11月	12月	1月	2月	3月
792	766	740	715	715	792

認知症対応型通所介護事業

提供するサービス内容

- ・送迎
- ・健康チェック
- ・入浴
- ・食事
- ・レクリエーション
- ・個別機能訓練
- ・相談業務

実費負担（徴収する項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
（要支援1）	927円/回
（要支援2）	1,036円/回
（要介護1）	1,072円/回
（要介護2）	1,188円/回
（要介護3）	1,305円/回
（要介護4）	1,422円/回
（要介護5）	1,539円/回
○ 食費負担	750円/回

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 7日 ○提供時間 9:30～16:35

職員体制

- ・管理者 1名（常勤兼務）
- ・生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・看護師 5名（非常勤兼務）
- ・介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

目標

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施します。ご利用者お一人お一人に合わせた細やかな対応を行うことで、住み慣れた環境での生活が継続できるよう支援していきます。

その他（特徴的な取組、PR等）

8名以下の落ち着いた環境において、家庭的な手厚いサービス提供を行います。
園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、一般型通所介護のご利用者や地域の幼稚園児、中学生との交流など、他者とのコミュニケーションの場を設けることで、認知症の進行抑制に取り組んでいきます。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7	9	9	12	12	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	16	16	13	11	14

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

（目標）

総合相談窓口としての周知徹底と機能充実を図ります。

（具体的な計画）

- ① 地域の会議や行事へ積極的に出向くことで、地域ケアプラザが保健福祉の総合相談窓口であることを周知していきます。
 - ② 町内会館などを活用し、身近な場所で気軽に相談が行えるよう、出張相談等も検討していきます。
 - ③ 相談を受けた際には、適切なアドバイスや各種サービス・関係機関に結び付ける等、迅速な対応を行います。
 - ④ 生活支援コーディネーターと連携し、相談ケースの内容等を分析、地域課題の傾向をつかみ、それを通して地域特徴の分析に取り組みます。
- 事業実施の際には、必ずアンケート調査を実施。次の事業や関係機関との連携に活かしていきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

（目標）

それぞれの職種が連携を図り、専門性を活かすことで、個々の職員では解決できない地域ニーズに即したサービス提供を実施します。

（具体的な計画）

- ・ 部署ごとの定期ミーティングを実施。包括支援センターのミーティングには地域活動・交流のコーディネーターも加えることで、5職種の連携強化を図ります。

3 職員体制・育成

（目標）

下記①、②の取組みにより、地域との信頼関係強化を図ります。

- ① 風通しの良い職場環境づくりと安定した職員体制の確保。
 - ② 各種研修参加による職員のスキルアップ。
- （具体的な計画）
- ① 部署ごとの定期ミーティングを実施。包括支援センターのミーティングには地域活動・交流のコーディネーターも加えることで、5職種の連携強化を図ります。
法人全体において職員のキャリアごとに合せた研修（接遇研修、PDCA研修など）を実施します。
 - ② 年2回、法人の理念や個人情報保護の必要性など、系列の4ケアプラザにおいて全職員を対象とした合同研修を実施します。
 - ③ 年4回程度、各部署の系列4ケアプラザ合同研修を実施します。
外部研修に関しては、個別・地域の課題解決、ネットワーク構築に関する知識・技術の習得等、ケースワーク・コーディネート力の向上を図るため、各部署の該当研修に随時参加をしていく予定です。

4 地域福祉のネットワーク構築

（目標）

関連機関が実施する会議や行事へ積極的に出向き情報共有を行うことで、地域福祉ネットワークの構築に取り組めます。

（具体的な計画）

- ① 毎月1回開催される地区連合自治会へ参加し、ケアプラザからの情報提供と地域からの情報収集を行います。
- ② 地区の社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会へ随時包括支援センターの職員が出席し、地域からの相談対応とケアプラザからの情報提供を行います。
- ③ 地域の障がい者施設との繋がりを深めることを目的として、部屋利用や事業実施日に合わせた3カ所の作業所のパン販売や豆腐販売を実施します。
- ④ 地域の幼稚園や小中学校とのネットワーク形成として、学生の職業体験学習受入れやデイサービス利用者との交流会を実施します。
地域でのSOS見守りネットワークの形成に関して、ケアマネジャー、地区民生委員・児童委員協議会、関連事業所等への周知説明を行います。
- ⑤ 子育て支援連絡会で話し合った地域の課題「砂遊びなど、公園で遊ぶことの大切さをお母さん達に知ってもらう」を地域の子育て支援連絡会メンバーと共に事業を計画し実施していく。

5 区行政との協働

(目標)

ほっとなまちづくりだけではなく、様々な取組を通じて区行政との連携強化を図ります。

(具体的な計画)

- ・ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)の支援チームメンバーとして、地域課題の抽出、整理を行いながら、地域福祉保健計画推進を区行政と協働ですすめていきます。
- ・介護予防事業や多職種連携体制の構築など、区行政と連携して業務推進にあたります。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(目標)

- ①地域のニーズを探り出し、地域の方々の要望を聞きとり情報収集と情報発信に努めます。
- ②子育て中の若い世代に届く情報発信の工夫に努めます。

(具体的な計画)

- ①地域の祭りや老人会、赤ちゃん教室など、様々な会合に顔を出しケアプラザが取り組んでいる事業の紹介と老人会や、地域の自治会での情報収集を行う。
- ②毎月の広報紙や自主事業、ケアプラザの日々の様子を写真入りでブログに掲載し、スマホで気軽に情報が見られるようにします。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(目標)

福祉保健活動団体の発表の場をコーディネートします。

(具体的な計画)

10月にじゃがいもフェスタ、12月にクリスマスコンサートなど活動団体が発表する場を企画し、実施します。また地域の自治会や老人会などケアプラザ外にも活動の場を広げ交流します。

3 自主企画事業

(目標)

- ①障がい児・者の余暇支援の事業を実施します。
- ②いつでも、誰でも立ち寄れる地域に開かれたケアプラザを目指します。
- ③自主事業に防災対策を意識した内容を盛り込み、地域の防災リーダーを育成します。
(具体的な計画)
- ①月1回、第4土曜日、親子でまたは本人だけで参加しヒップホップダンスを楽しむ。
地域の学校に通う障がい児と学校を卒業した障がい者の余暇活動。地域の方々との交流の場を設けます。
- ②エントランスでの「大きなお絵かきしよう」、「本の貸し出し事業」は開館時間であれば、いつでも対応します。
- ③人の集まるフェスタや利用団体交流会を活用して防災訓練や炊き出しの練習を行う。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

(目標)

地域のボランティアをやりたい方の掘り起こしとボランティアを必要としている方や団体のコーディネートに努めます。

(具体的な計画)

地域のボランティアを必要としている団体や内容を一覧表にしてボランティアをしたい方に紹介できるよう努める。

学生向けサマーボランティア企画では保土ヶ谷中学など新規の学校を開拓して交流を積極的におこないます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

(目標)

ケアプラザ（地域包括支援センター）の機能・役割を、地域住民に広く知って頂くと共に、身近な存在として認識して頂けるよう取組み、気軽に相談が出来る環境づくりを目指します。

(具体的な計画)

- ①出張講座の回数を増やし、ケアプラザ（地域包括支援センター）の機能・役割の周知に取り組むと共に、顔の見える関係づくりの一層の強化に取り組めます。7/26時点で、7/28 仏向地区社協主催の公開講座と 9/12 サンシティ横浜での住民向け講座の依頼を頂いております。
- ②既存の事業に加え、後期団塊世代への仕掛けを目的に、「生涯学習」講座の開講や地域交流との連携を通して、ケアプラザを「活動の場」として認識してもらい、早期からの繋がり作りに努めます。

地域包括支援ネットワークの構築

(目標)

安心して暮らしていける町づくりを目指し、地域住民や福祉関連事業所・施設だけでなく、一般営利企業等とも連携出来るよう取り組んでいきます。

(具体的な計画)

- ①SOS 見守りネットワーク構築に向け、既存の発見協力機関への新システム周知を行い、改めて連携強化に努めます。また、新規発見協力機関の登録にも取組み、ネットワーク拡大を目指します。
- ②認知症サポーター養成講座の開催に際して地域のキャラバンメイトと連携し、地域住民をネットワークに取り込んでいくことを目指します。

- ③地域活動・交流コーディネーターと協働して作成した地域活動紹介の冊子を活用し、ケアマネジャーと地域との結びつきの強化に取り組みます。
- ④地域の有料老人ホーム職員向けに、包括とケアマネの役割について講演する機会を設けます。これによって、お互いの業務内容の把握が不十分だったことによって生じてきた軋轢の緩和を目指すと共に、地域事業でも協力していける関係を目指します。先方職員の勤務体制の都合上、数度に分けての講演となり、一度目は6/22に予定しています。

実態把握

(目標)

包括3職種だけではなく、生活支援 Co. や地域 Co. と連携し、昨年度以上に範囲を広げて地域の実態把握に努めます。

(具体的な計画)

- ①「地域高齢者実状把握 MAP」(仮)を生活支援 Co. と共同で作成し、これを基に区役所・区社協とも情報交換・共有を進めていきます。
- ②昨年度に引き続き、所長、コーディネーターを含め、毎月持ち回りで連合町内会に参加します。その場において、ケアプラザの事業紹介やほっとなまちづくりの進捗状況報告、新鮮な地域の話集等、情報交換に努めます。
- ③昨年度に引き続き、毎月定例で5職種(包括、地域、生活)+所長で合同ミーティングを行い、情報共有に努めます。
- ④各職種により事業、合同による事業を問わず、アンケート調査及び集計を行います。5職種分のアンケート収集で幅広い実態把握に努め、次回以降の事業実施に反映していきます。

2 権利擁護

権利擁護

(目標)

昨年度に引き続き、成年後見制度や消費者被害対策等の地域への周知に努めます。

(具体的な計画)

【消費者被害】

消費生活総合センターに講座開催を依頼し、地域からの参加者にこういった詐欺の手口があるのかを知って頂きます。また、その講座の資料を活用し、地域への出張講座の開催も目指します。

【成年後見制度】

ケアプラザが成年後見制度利用に関する相談先であることを周知していくことを目的として活動します。そのために、出張講座や相談会による面へのアプローチ、ケアマネジャー等からの依頼による個別ケースへの対応や地域ケア会議などによる点へのアプローチの二つの角度から取り組んでいきます。また、就業等で平日に相談に来られない層へのアプローチのため、7月からは毎月第二日曜に住民向けの個別相談会(事前予約)を実施します。

高齢者虐待

(目標)

昨年度に引き続き、地域のケアマネジャーとの連携に加え、各サービス事業所や地域で活動する地区社会福祉協議会、民生委員への虐待に対する感度を高める取組を行い、より一層の早期発見に努めます。

(具体的な計画)

- ①ケアマネジャーやデイサービス事業所、ヘルパー事業所への普及啓発については、区内包括支援センターと連携して普及啓発に取り組みます。

- ②地区社協及び民生委員に対しては、27年度に地区社協の勉強会で生活保護講座を行った経験を活かし、同様の手法で勉強会を行うことによって、意識づけ・周知に取り組んでいきます。

認知症

(目標)

28年1月から稼働している区内共通の徘徊SOSネットワークの協力機関・業者の拡充と、若い世代を含めた幅広い世代への認知症に対する理解の促進を目指します。

(具体的な計画)

【SOSネットワーク】

現発見協力機関全てに、新しいシステムの周知を行うと共に、上下両期それぞれ一団体を、新規発見協力機関として登録することを目標とします。そのために、近隣事業所への訪問や福祉施設の運営推進会議への出席を通して、周知に努めます。

【認知症】

- ①昨年度に引き続き、認知症（予防）カフェの定期的な開催を行います。この開催を偶数月第一土曜日に原則固定します。また、奇数月第一土曜日にキャラバンメイト連絡会を定期的で開催し、認知症（予防）カフェの開催内容やサポーター養成講座に関する打ち合わせを行っていきます。
- ②エリア内の有料老人ホームでの職員向け講演の第二弾としてサポーター養成講座の開催を企画しています。
また、地域内の障がい者自立支援施設等の職員に対しても養成講座開催をアプローチしていきます。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

(目標)

- ①基本チェックリスト施行実施と全市実施に向けたワーキングで得た情報を包括全体会や各分科会を通して他包括に提供し、区内全包括がスムーズに導入できるよう努めます。
- ②生活支援 Co. と連携し、介護保険サービスだけではカバーしきれない潜在的ニーズの発掘、集計等に努めます。

(具体的な計画)

- ①6/13、7/11の基本チェックリスト全市実施に向けたワーキングに向け、分科会を通して、各包括からの疑問を事前に吸い上げます。また、各回ごとに各包括に経過を報告し、その過程で生まれた質問もワーキングの場で活かしていきます。
- ②初回相談の場や担当者会議、区・社協とのミーティング等、生活支援 Co. と協働する機会を増やし、ニーズを把握する機会の増加に努めます。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

(目標)

自治会、地区社協、民児協とケアマネジャーとの懇談会を定期的で開催し、地域資源の情報収集やネットワーク構築を目指します。

(具体的な計画)

地域を支援する方々の活動発表を通じ地域の問題や地域資源について共有し、それぞれの活動を理解し合い、連携を取りあえる関係づくりが出来るように会を開催し、包括として地域資源の情報も更新し提供します。

医療・介護の連携推進支援

(目標)

各専門職の専門性を理解し円滑な連携が図れるために、情報を共有できるように医師を含めた多職種連携会議の開催を行いたいと思います。

(具体的な計画)

地域医療機関とケアマネジャーの懇談会は訪問看護師、訪問介護員等の現場で支援する声も聞ける交流や話し合いの連絡会を開催しそれぞれの立場で気付きの視点の違いを共有する。

ケアマネジャー支援

(目標)

ケアマネジメント業務を充実するための必須研修やスキルアップ研修を開催します。エリアケアマネ連絡会では現状で抱えている困難事例の解決や地域ケア会議の必要性を把握する事も視野に入れ開催します。

(具体的な計画)

包括合同研修においては制度、認知症、精神疾患、ケアプランの立て方、多職種連携など日常業務上で必須な研修を開催。

エリアケアマネ連絡会においてはスピリチュアル研修や事例検討会でアセスメントの向上を目指して定期的を開催します。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

(目標)

介護保険サービス事業所だけでなく、地域や一般営利企業、障がい者自立支援事業所など、枠に囚われない連携体制の構築を目指します。

(具体的な計画)

- ① 連合町内会への参加や運営推進会議への参加など、以前から繋がりのある手段を用い、包括の役割説明やこれまで手薄だったサポーター養成講座の開催などを通して、お互いの役割の理解を進め、連携体制の構築発展に取り組みます。
- ② 要介護ケースや困難ケースに拘ることなく、積極的に個別地域ケア会議開催を行っています。また、個別地域ケア会議の開催を重ねるとともに、前述の地域課題の把握と併せて、包括レベルの地域ケア会議の開催に展開するよう努めていきます。

介護予防事業

介護予防事業

(目標)

新規地域活動グループの立ち上げ支援ときらり★シニア塾の登録へ結び付けたい

(具体的な計画)

- ① 星の丘ビューシティーに介護予防体操の導入
- ② ケアプラザ自主グループ及び地域活動グループへの支援を重ね、きらりへと繋げていけるよう働きかける。

(地域活動グループへの支援)

- ・本年度は新たに水道山自治会館と坂本町内会館にて口腔機能向上のための講座（栄養士および歯科衛生士による）を開催予定です。
- ・介護予防リーダー研修終了後、自主事業グループおよび地域活動グループに反映できるように働きかけ支援していく。

生活支援体制整備

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

(目標)

地区情報及び地域ニーズ、既存の資源を把握、分析し、資源情報リストを作成する。

(具体的な計画)

- ① 既存の様々なデータや相談表を活用し、地区情報の収集に努める。
- ② 包括3職種＋地域交流COと共にマップを活用し5職種で連携した地域ニーズの把握を行う。
- ③ 既存の資源を確認し、更に細かい情報を得ながら、資源情報リストを作成する。
- ④ 民児協の定例会や各自治会・町内会での活動に参加し、積極的に支援者や地域住民の声を聞けるようにする。

圏域レベルの協議体の設置・開催

(目標)

圏域での協議体を設置し、年一回以上開催する。

(具体的な計画)

地域の現状や課題を支援者や住民等と共有しながら、解決に向け推進して行けるよう協議体を年一回以上設置・開催する。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

(目標)

圏域の目標・取組み事項を設定する。

(具体的な計画)

区や区社協と協力し、地域支援者、住民と共に目標・取組み事項を設定する機会を設ける。

具体的な取組事項への着手

(目標)

取組み事項に着手し、生活支援・介護予防の充実に努める。

(具体的な計画)

定めた取組み事項に確実に着手できるよう、包括3職種＋地域交流COと連携、補完しあいながらケアプラザ全体で進めていけるようコーディネートする。

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名: 仏向 地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	生活支援	認知症対応型通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	19,289	23,568	151					5,789	
	介護保険収入				9,324	10,840	84,973	8,854		2,081
	その他						1,399			
	利用者等外給食費収益						1,260			
	雑収益						139			
	収入合計(A)		19,289	23,568	151	9,324	10,840	86,372	8,854	5,789
支出	人件費	11,550	20,550			13,509	54,725		5,480	1,095
	事務費	1,344	694			618	5,501			219
	事業費	900	500	151		92	4,768		309	37
	管理費	3,800	1,000			483	4,156			193
	その他	1,695	824		5,594	0	1,335	0	0	0
	協力医謝金		630							
	修繕費	474	126							
	運営協議会経費	42								
	建築物・建築設備点検	255	68							
	予防委託費				5,594					
	消費税	924								
	減価償却費									
利用者等外給食費						1,335				
支出合計(B)		19,289	23,568	151	5,594	14,702	70,485	0	5,789	1,544
収支 (A) - (B)		0	0	0	3,730	-3,862	15,887	8,854	0	537

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お部屋の開放	未就園児とその親	0	0	0	0	0	0
	10組×60回予定						
	0						
どんぐリング	未就園児とその親	50,000	0	0	36,000	14,000	0
	20組×12回						
	0						
大きなお絵かき しよう	小学生以下	0	0	0	0	0	0
	347回						
	0						
みんなで人形劇 をみよう	未就園児とその親	20,000	0	0	20,000	0	0
	20組×2回						
	0						
親子でリズム遊び	<small>①1歳半～未就園児の親子②0歳～1歳半の親子</small>	10,000	0	0	10,000	0	0
	<small>①20組×5回予定②20組×5回予定</small>						
	0						
自主製品販売場所の提供・ 調整	地域の方	0	0	0	0	0	0
	80回						
	0						
仏向絵手紙クラブ	地域の方	6,000	0	4,000	0	0	6,000
	10人×4回						
	100円						
囲碁・将棋クラブ	地域の方	0	0	0	0	0	0
	20人×48回						
	0						
岩崎幼稚園、立正桜ヶ丘幼 稚園との交流会	幼稚園児と利用者	5,000	0	0	0	5,000	0
	70人×2回						
	0						
仏向ミュージックカフェ	地域の方	45,000	0	0	33,000	12,000	0
	30人×11回						
	0						
ビニールプールで 水遊び	未就園児とその親	5,000	0	0	0	5,000	0
	25組×4回						
	0						
サマーボランティア	中・高学生	0	0	0	0	0	0
	20名						
	0						
館内利用団体交流会	貸室団体	5,000	0	0	0	5,000	0
	40人×1回						
	0						
ボランティア交流会	ボランティア	15,000	0	0	0	15,000	0
	30人×1回						
	0						

平成28年度 自主事業収支計画書

ふれあい「音」 広場	地域の方	20,000	0	12,000	0	20,000	0
	10人×12回						
	100円						
おもちゃの病院	地域の方	0	0	0	0	0	0
	15人×4回						
	0						
絵本読み聞かせとわらべうた	未就園児と親	0	0	0	0	0	0
	20組×2回						
	0						
わんあっぷ教室	<small>子育てが大変と感じている親と未就園児</small>	126,000	0	0	120,000	0	6,000
	12組×12回						
	0						
語りべと歩くまち	地域の方	2,000	0	0	0	0	2,000
	15人×2回						
	0						
よくばりダンスどんだけ～♪	子育て中のママ	15,000	0	9,000	15,000	0	0
	15人×3回						
	200円						
Bホップダンス	障がい児・者	45,000	0	27,000	45,000	0	0
	15人×9回						
	200円						
パパデー	未就園児と父親	0	0	0	0	0	0
	20組×1回						
	0						
じゃがいもフェスタ	地域の方	100,000	0	0	0	100,000	0
	1回						
	0						
クリスマスコンサート	地域の方	30,000	0	0	20,000	10,000	0
	1回						
	0						
公園遊び講習会	未就園児と親	5,000	0	0	0	5,000	0
	20組×4回						
	0						
じゃがいもカフェ	地域の方	30,000	0	0	20,000	10,000	0
	20人×6回						
	0						
いきいきシニア体操	高齢者	60,000	0	0	60,000	0	0
	20人×12回						
	0						
社交ダンス	高齢者	6,000	0	6,000	6,000	0	0
	20人×3回						
	100円						
座ったまま出来るフラダンス	高齢者	0	0	0	0	0	0
	20人×5回						
	0						
ボールペン字講座	高齢者	36,000	0	0	36,000	0	0
	12人×12回						
	0						

平成28年度 自主事業収支計画書

仏向バンドプロジェクト	地域の方						
	15人×12回	40,000	0	0	36,000	4,000	0
	0						
仏向農園	地域の方						
	不定期	130,000	0	0	30,000	100,000	0
	0						
ママたちのストレッチ&ダンス	地域の方						
	15人×7回	35,000	0	21,000	35,000	0	0
	200円						
		841,000	0	79,000	522,000	305,000	14,000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業計画書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お部屋の開放	<p>●【目的】子育て中の親子の交流の場をつくることで、子ども同士、親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】出入り自由、プログラム無しの気軽に立ち寄れる親子の居場所として部屋を解放。</p>	<p>●第3火曜日、毎週木曜日を主に、単発での子育て事業終了後 (不定期) 計60回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どんぐりリング	<p>●【目的】子育て中の親子を対象に、親子ふれあいの楽しい時間と、家庭でも楽しめる遊びを提案する。また子供同士、親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】保土ヶ谷区で活躍している保育ボランティア「かるがもキッズ」のスタッフを講師に手遊びや体操など親子遊びを中心に毎月季節の行事や工作など取り入れたプログラムを実施。</p>	<p>●毎月第3火曜日 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大きなお絵かきしよう	<p>●【目的】地域の子ども達を対象に、普段できない大きな窓ガラスに自由な発想で「落書き」を楽しんで頂くと共に、室内で遊ぶ場の少ない地域で子ども達と未就園児の親子の居場所として実施。</p> <p>【内容】エントランスにあるガラスで落書きを楽しむ。</p>	<p>●開館日 10時～17時の間いつでも</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでお人形劇をみよう	<p>●【目的】地域にお住まいの0歳から小学生の親子と仏向小学校はまっこふれあいスクールに参加している低学年の子供達と一緒に人形劇を観劇することで、さまざまな年齢の子供達や親との交流を図ることを目的に実施。</p> <p>【内容】人形劇ボランティア「はまなす」、「たんぽぽわらべ」さんによる、人形劇、エプロンシアターの観劇会。人形劇団のメンバーと観客である子供達との交流の時間も設け、鑑賞会だけにとどまらず、積極的に交流を深めるようにしている。</p>	<p>●7月・3月 計2回</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でリズム遊び	<p>●【目的】未就園児とその親を対象に、リズム遊びをとおして、親子のスキンシップを図ると共に参加者同士の交流を促します。また、子供中心の生活になっている親のリフレッシュの場として実施。</p> <p>【内容】①1歳半～未就園児の親子対象②0歳～1歳半の親子対象と年齢別に時間をわけ、それぞれ、音楽に合わせて体を動かしたり、手作りの楽器でリズムをとったりスキンシップを図る。</p>	●年2回実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主製品販売場所の提供・調整	<p>●【目的】区内にある障がい者施設の自主製品販売の支援と共に、商業施設の少ない当ケアプラザエリアで、子育て事業に参加した親子や部屋利用団体の方々にはパンなどを購入できる場所を提供することを目的に実施。</p> <p>【内容】いわまワークス、ダンボの会、とうふ工房夢21の製品販売</p>	●毎週木曜日の育児相談終了後 月2回の子育て支援事業終了後に実施 計80回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向絵手紙クラブ	<p>●【目的】絵手紙に興味のある方、これから新しい趣味を持ちたい方を対象に、同じ趣味をもつ方々の仲間作り、介護者の気分転換などを目的に実施。</p> <p>【内容】地域にお住まいの方を講師に招き、季節の花や野菜をモチーフに絵手紙を作成。</p>	●毎月第2火曜日 4、5、6、7月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋クラブ	<p>●【目的】地域の方々を対象に、囲碁・将棋を通して、仲間づくりや交流を図る。高齢男性の引きこもり予防、外出のきっかけ作りを目的に実施</p> <p>【内容】囲碁または将棋の対戦をする</p>	●毎週火曜日（第4のみ月曜日） 計48回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
岩崎幼稚園、立正桜ヶ丘幼稚園との交流会	<p>●【目的】園児とデイサービスの利用者さんとの交流を目的に実施。</p> <p>【内容】うちわの制作や、園児の楽器演奏や歌の発表、デイサービスの利用者さんと昔遊びなどして交流する。</p>	年 2 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向ミュージックカフェ	<p>●【目的】地域住民へ多人数で歌を歌う機会の提供と交流の場として定期的な開催をする。</p> <p>【内容】地域にお住まいのピアノの先生の生伴奏で、歌謡曲、童謡、唱歌など様々なジャンルの歌を歌います。</p>	<p>●毎月第3土曜日 (8月は除く) 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビニールプールで水遊び	<p>●【目的】未就園児の親子を対象に、水遊びをとおして親子のふれあいを深めると共に、参加者同士のコミュニケーションを図ります。また、サマーボランティアの活動プログラムをとり入れることで、普段関わることのない中学生～大学生と子育て中の親子の交流を図る。</p> <p>【内容】2階のテラスにビニールプールを用意し水遊び。</p> <p>●仏向地域ケアプラザの自主事業として1回実施。</p> <p>●仏向地区社会福祉協議会と共催で2回実施。</p> <p>●ふれあい「音」広場の時間の中で、子育て中の親とその子供と高齢者の交流を目的に1回実施。</p>	●7月～8月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーボランティア	<p>●【目的】中学生と高校生、専門学校、大学生を対象に、福祉保健施設を利用している、子育て中の親子や高齢者、地域で活躍しているボランティア活動の先輩達との世代間交流をとおして、地域や福祉について学ぶことを目的とする。</p> <p>【内容】活動前に説明会を実施。「ボランティアとは」「活動の説明」、デイサービスでボランティアをする方には、キャラバンメイトによる認知症についての話。「日程調整」などをおこない7～8月に活動にはいります。</p>	●7月～8月 個人の希望する日程・時間で活動する

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
館内利用団体 交流会	<p>●【目的】 仏向地域ケアプラザの館内利用団体を対象に情報交換と防災訓練の実施。今年度、初めて配置された、生活支援コーディネーターも参加しサークル活動に急に参加されなくなった参加者がでた時にどのように対応したら良いかなど、仲間づくりについて話し合う。</p> <p>【内容】 1、館内利用についての確認と説明 2、仲間づくりについて 3、非難訓練、消火訓練、心肺蘇生・AED講習</p>	●7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	<p>【目的】 仏向地域ケアプラザに登録し活動している方を対象に交流を図る。</p> <p>【内容】 館内利用団体の「仏向男の料理」のメンバーにお願いし、バイキング形式の料理（ピザ、パエリア、トルティーヤ、スープ）を調理していただき、食事会やボランティアさん同士の交流を図る。</p>	●4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい「音」 広場	<p>●【目的】 子供から高齢者まで、多世代交流の場所として、またおとなのための居場所づくりを目的とする。</p> <p>【内容】 お茶を飲みながら自由に集える場として開催。レコードを持ち寄り、集まった方々で聴いて楽しむ。子供から大人まで一緒に鉄道模型を走らせ楽しむ。保土ヶ谷の民話を紙芝居で紹介しているボランティアさん、レコードボランティアさんと交流をしてマンネリ化しないよう企画する。</p> <p>●地域包括支援センターと地域活動交流共催</p>	●毎月第4土曜日 午後実施 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの病院	<p>●【目的】 物を大切にすることを育む</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区の生涯学級「おもちゃ再生館」の卒業生、おもちゃドクターが地域の方々の壊れたおもちゃを可能な限り修理します。修理費は無料。（部品代が300円以上の場合は、ご相談します。）</p>	●5月・9月 11月・2月 計4回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本読み聞かせ とわらべうた	<p>●【目的】子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせや身近なわらべうたを通して、親子の交流と本の面白さや奥深さを伝える。</p> <p>【内容】保土ヶ谷図書館の司書さんを講師に迎え、絵本の読み聞かせと紙芝居、わらべうたを親子一緒に楽しむ。</p>	●7月・1月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんあっぷ教室	<p>●【目的】近隣の子育て中の親子、特に子育てが大変と感じている親子を対象にミュージックケアを行い、五感を刺激する事で子供の発達を促す。また、子供への正しい関わり方を親に理解してもらおう事で、その後の生活においても子育てに対する悩みを少しでも軽減する事を目的とする。</p> <p>【内容】1. 自由時間 2. ミュージック・ケア 3. 育児相談</p>	●毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語りべと歩くまち	<p>●【目的】「ほどがや語りべ集」の編集に関わった方々と一緒に、企画から運営をおこないます。語りべ集に載っているポイントを中心に、ウォーキングをしながらまちの魅力を再発見することができる。また自分達のまちづくりに興味を持つことを目的に実施する。1万歩前後を歩くため生活習慣病の予防にも有効である。</p> <p>【内容】6月24日「保土ヶ谷公園スポーツ施設巡り」 12月初旬「畑巡りとみかん狩り」</p>	●年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よくばりダンス どんだけ～♪	<p>●【目的】子育て中のママを対象に、ダンスを通しての親同士のふれあいや交流を図ります。</p> <p>【内容】親子または、お母さんだけで、ストレッチ体操をした後音楽に合わせて創作ダンスを踊る。子供の保育にはボランティアさんをお願いし、お母さん同士の交流を深め、子育てのストレス発散にも役立つ。</p>	●年3回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Bホップダンス	<p>●【目的】障がい児・障がい者の余暇活動を支援する。障がい児・者の自主事業を通して地域のニーズを探り、協力者を見つけ出す。</p> <p>【内容】地域にお住まいの障がいのある小学生から学校を卒業して作業所に通われている18歳以上の方を対象にヒップホップダンスを楽しむ。余暇を身近にある地域ケアプラザで地域の仲間と共に過ごす。子供さんと一緒にご家族も参加して楽しむことができる。</p>	●6月より毎月第4土曜日 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパデー	<p>●【目的】パパが子育てを純粹に楽しむイベント。パパ同士の絆を深める。</p> <p>【内容】大きなバランスボールを使ってパパと子供がふれあいながら楽しむ。パパだけでなく家族参加、ママと子供での参加も良い。最後に参加者同士の話し合い。こっころとの共催事業。</p>	●1月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向バンドプロジェクト	<p>【目的】昔、音楽活動をしていた地域に眠る音楽家、または今音楽活動をしている若い方たちで一つのバンドの結成を目指します。行く末はケアプラザ祭りやデイサービス、地域の方々に披露し、地域貢献活動のきっかけ作りを目的に開催します。</p> <p>【内容】ケアプラザの周知、またお互いの交流を音楽というツールを通して行い、この先の生活での目線を地域活動に向けて頂く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプラザより事業の趣旨説明 2. 自己紹介・楽器紹介 3. 曲選定 4. 個人練習・合同練習 5. 全体演奏 	●毎月第3土曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
じゃがいもフェスタ	<p>●【目的】利用団体の発表の場として。団体同士の横のつながりを深める。ケアプラザがどんな内容の仕事をしているか多くの地域の方々が集まるフェスタで分かりやすく伝える。</p> <p>【内容】野菜畑に囲まれた立地をいかして野菜をテーマに利用団体の方々が協力して料理や菓子を作っていただき参加者と共に楽しむとともに災害時の炊き出しの練習にもなる。キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座。利用団体の発表。包括支援の看護師による体組成計、社会福祉士による総合相談。生活支援コーディネーター他どんな仕事をしているのかクイズ形式で来館者に伝える。</p>	●10月 1回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>●【目的】 仏向地域の音楽をとおして交流している仏向バンドの発表の場として、コンサートに集まった地域の方々の交流の場として実施。</p> <p>【内容】 クリスマスに仏向バンドのコンサートを地域の方々と共に楽しみ、親睦を深める。</p> <p>●仏向地区社協との共催事業</p>	<p>●12月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママたちのストレッチ&ダンス	<p>●【目的】産後の体調回復を意識したストレッチ体操と音楽を聴きながらリラックスできるダンスを組み合わせ、ママたちの心身を整える。また仲間づくりを目的とする。</p> <p>【内容】 産後の体調の回復を促すストレッチ体操とダンス。</p>	<p>●毎月第1火曜日 計7回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
じゃがいもカフェ	<p>【目的】地域で暮らす方の閉じこもり・認知症予防を目的に地域資源や地域で活躍している講師との交流を通じて気持ちが外や地域へ向く事を目的にする。</p> <p>【内容】地域の畑へ出かけ栽培方法を聞き、収穫し試食。地域で活躍の先生と一緒に簡単な懐かしいおやつを作りながら交流を持つ。</p>	<p>●隔月1回 年6回予定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア体操	<p>【目的】 介護予防の目的で習慣になる筋力強化運動と脳トレを提案。 集まった人たち同士の交流を図り、新しい関係作りをする。</p> <p>【内容】 講師を招き、健康体操を通じて筋力強化を図る。また、脳トレーニングも組み込み、介護予防の総合的な勉強を行う。</p>	<p>●毎月1回 計12回</p>

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス	<p>【目的】初めての方でもステップから指導してもらえ、曲にあわせながら、体を動かし楽しんで運動することにより認知症予防にもつながり、男性の高齢者の介護予防につながる。</p> <p>【内容】1月より毎月第二火曜日に実施。曲のリズムに合わせて、初心者向けのステップを行い、少しずつペアでの動きも取り入れる事でお互いの交流となり、楽しみながら自然に介護予防へ繋がるといった内容。</p>	●4月～6月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
座ったまま出来るフラダンス	<p>【目的】上記と同様、「生涯学習」を掲げた講座として行います。フラダンスが「座ったままできる」ことをセールスポイントとし、女性を中心として「体操や運動は立ち続けることが難しい」という思いをお持ちの方の参加を目指します。目的についても「ボールペン字講座」と同様、引きこもり予防につなげ、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】3/24に第一回を開催し、5名の参加を頂きました。その後、上記と同様広報紙等での告知を経て、4/10時点で15名が登録している状況です。今後は、7月もしくは8月をメドに当ケアプラザのデイサー</p>	●4月～8月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボールペン字講座	<p>【目的】「生涯学習」と銘打ち、継続的に講座を開くことで、現時点では介護サービスが必要とされていない地域の高齢者の参加を促します。この講座は、「ボールペン字」という日常生活に密接に結びつく部分をテーマとして扱い、「介護」色を薄めることでこれまでケアプラザの事業に参加してこなかった方の参加を狙います。これによって、引きこもりを予防し、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】3/3に第一回を開催し、告知期間が短かったにも関わらず6名の参加を頂きました。その後、ケアプラザの広報紙等での周知を行った結果、4/10時点で13名の登録と6名のキャンセル待ちがいる状況となっています。今後は、連絡なしの欠席が続いた方をキャンセル扱いとし、キャンセル待ちの方を随時組み込んでいく予定となっております。</p>	●毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向農園	<p>【目的】野菜づくりには季節性があり、自然への働きかけを行い身体を動かすことで、緊張緩和、癒し効果、ADL低下や認知症予防などが期待でき、心身両面における健康増進を図ります。また、野菜づくりという一つの目的を通じて、生活の質の向上（生きがいづくり）や、定年後の男性の社会参加、多くの世代が集まる世代間交流の場を提供します。</p> <p>他の自主事業（じゃがいもカフェ）やボランティア活動の場としても活用していきます。</p> <p>【内容】集まった皆さんと一緒に何を植えるか検討し、季節の野菜を植え、経過を見守りながら収穫を行う。収穫した野菜を使って料理をしたり、収穫後の野菜の活用方法も</p>	不定期